

大動物臨床研究会第7回東京シンポジウム

テーマ： 牛の一生における管理 ～乳房炎を考える～
開催日： 平成29年3月11日（土）、10：00～17：30
会場： 東京大学農学部1号館8番教室（〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1）
大会長： 望月 学（東京大学大学院農業生命科学研究科）
主催： 大動物臨床研究会（会長：高橋俊彦）
参加費： 正会員1,000円、非会員4,000円、学生1,000円（事前登録不要）

プログラム：

座長：河合 一洋（麻布大学）、菊 佳男（農研機構 動物衛生研究部門）

○基調講演1（10：10-11：40）

- 乳房炎と自然免疫機構

磯部 直樹（広島大学大学院 生物圏科学研究科）

○ランチョンセミナー（11：50-12：50）：Meiji Seika ファルマ（株）企画

- 乳房炎原因微生物の薬剤耐性状況と課題

河合 一洋（麻布大学）

○基調講演2（13：00-14：30）

- 粘膜免疫機構に立脚した乳房炎粘膜ワクチン開発

林 智人（農研機構 動物衛生研究部門）

○教育講演1（14：40-15：20）

- 急性大腸菌性乳房炎の病態と臨床

篠塚 康典（麻布大学）

○協賛企業からの話題提供（15：30-16：20）

○教育講演2（16：20-17：00）

- 難治性乳房炎（*Streptococcus uberis* 感染症）に対するショート乾乳治療の取り組み

田中 秀和（ちばNOSAI連）

○総合討論（17：00-17：30）

○意見交換会（18：00-20：00）

- Bar ABREUVOIR（東大農学部向ヶ岡ファカルティハウス2階）、参加費5000円

<問い合わせ>

大動物臨床研究会事務局

菊 佳男（農研機構 動物衛生研究部門）

〒062-0045 北海道札幌市豊平区羊ヶ丘4、TEL: 011-851-2175、E-mail: yokiku@affrc.go.jp